



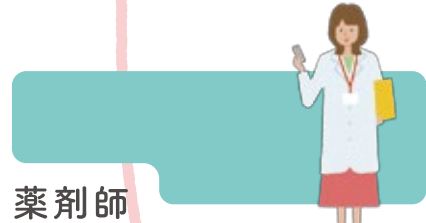
### 医師

在宅患者さんの全身状態や病状を診ながら、病院や診療所と同じ質の高いケアを行います。ご本人の必要に応じて、在宅医療に関わる様々な医療スタッフに適切な指示を出す役割を担っています。



### 歯科医師

口腔内の状態を診て、虫歯の治療や入れ歯の調整、口の中を衛生的に保つためのケア、のみ込み機能の低下、寝たきり状態や誤嚥性肺炎を予防するためのアドバイスや指導を行います。



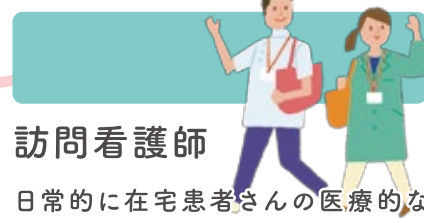
### 薬剤師

処方された薬が正しく飲めているかどうか、薬の飲み合わせや副作用の問題はないかなどを確認し、在宅患者さんにとって効果的で負担の少ない服薬指導を行い、不要な薬を減らしたりする役割を担っています。



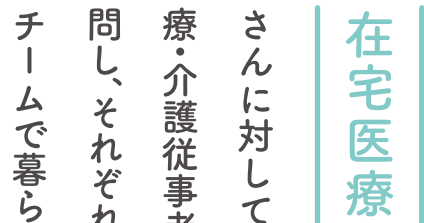
### 理学療法士・作業療法士 etc...

座る、立つ、歩くなどの日常的な動作の維持や回復、悪化の予防などを目的に、患者さんの身体の状態や暮らし方に合わせて、自宅や施設で自分らしい日常生活を送れるようにリハビリを行います。

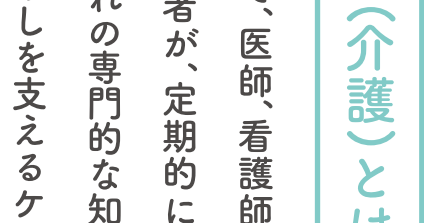


### 訪問看護師

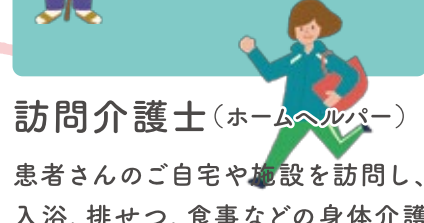
日常的に在宅患者さんの医療的なケアを行うのが訪問看護師の役割です。血圧・体温・脈拍など健康状態の確認や、医療的処置が必要な処置を行います。大変な状況でも、どうしたらうまく行くか本人やご家族と一緒に考えてくれます。



在宅医療(介護)とは、  
さんに対して、医師、看護師をはじめとする医療従事者が、定期的にご自宅や施設に訪問し、それぞれの専門的な知識を活かしながら、チームで暮らしを支えるケアを行うものです。



在宅医療(介護)とは、  
さんに対して、医師、看護師をはじめとする医療従事者が、定期的にご自宅や施設に訪問し、それぞれの専門的な知識を活かしながら、チームで暮らしを支えるケアを行うものです。



### 訪問介護士(ホームヘルパー)

患者さんのご自宅や施設を訪問し、入浴、排せつ、食事などの身体介護や、料理や洗濯などの生活援助を行います。どうしたら病気をもちながら自分らしい暮らしができるかを一緒に考えます。



### 連携病院・診療所

在宅患者さんの病状が急変したり、徐々に悪化して病院での治療が必要と判断された場合には、連携する地域の病院や診療所が、かかりつけ医から引き継いで適切な治療を行います。



### 管理栄養士

のみ込み機能の低下が原因で低栄養状態になると、患者さんにとって自分らしい暮らしを送ったり治療の妨げになってしまいます。患者さんの状態に合わせた栄養バランスや食事形態の指導などを行います。



### 市役所・役場・地域包括支援センター

この地域で暮らす一人ひとりが、適切なタイミングで適切な医療や福祉につながることでできる地域づくりを目指して、地域全体の医療・介護・福祉を取りまとめる役割を担っています。



### ケアマネージャー

介護保険を利用して介護サービスを受ける場合は、ケアマネージャーが一人ひとりに合ったケアプランを作成し、各種専門職との連絡や調整を行います。

# ずっと我が家で普通の暮らしを

在宅医療や介護の「まるごと」相談 ご案内

ちょっとした暮らしのお困りごとや医療、介護のご相談を、公的な立場で「まるごと」承ります。



在宅医療連携拠点「菜のはな」の医師や看護師が、あなたと一緒に考えます。

菜のはなの「地域まるごと電話相談」

北葛北部医師会在宅医療連携拠点「菜のはな」(東埼玉総合病院内)  
TEL:0480-40-1311(代表)

受付時間:月～金 9:00～17:00 ※土・日・祝・年末年始を除く

- ・幸手東地域包括支援センター TEL:0480-53-6151
- ・幸手西地域包括支援センター TEL:0480-40-3443
- ・杉戸町すぎと地域包括支援センター TEL:0480-36-2620
- ・杉戸町良宝園地域包括支援センター TEL:0480-38-1120

発行:幸手市・杉戸町・北葛北部医師会(在宅医療・介護連携推進事業) 制作:一般社団法人グッドネイバースカンパニー

幸手市健康福祉部介護福祉課  
住所:〒340-0152 幸手市天神島1030番地1(ウエルス幸手内)  
電話:0480-42-8444

杉戸町高齢介護課  
住所:〒345-8502 杉戸町清地2丁目9番29号  
電話:0480-33-1111(代)

この事業は、北葛北部在宅医療・介護連携推進事業です。



case

## 1 退院は決まったけれど…

病院から退院が決まった後の、  
ご自宅や施設で生じる医療や介護の心配や  
困りごとをお手伝いします。

認知症を患う母が退院することになりました。帰ってきてほしい気持ちは強くありますが、私たち夫婦も高齢なので自宅で母のケアが出来るのだろうかと不安です。お医者さん、看護師さん、リハビリの方などが自宅に来てくださると、安心できるかと思しますので、詳細を相談したいです。



case

## 3 必要時には3病院が入院でサポート (要事前登録)

在宅医療を利用していても、毎日の介護に休息がほしい時、  
病態が悪くなった時は、秋谷病院・堀中病院・東埼玉総合病院の  
地元医師会会員の3病院が入院を受け入れるサポート体制を整えています。

がん告知を受けた父を、自宅に引き取って緩和ケアを受けさせたいと考えています。でも在宅医療に切り替えると、最期まで自宅で頑張らなくてはいけないのではないかと、急に体調が悪くなった時やケアに疲れてしまった時にも病院に頼れないのではないかと、なかなか踏み切れずにいます。



case

## 2 自宅での療養生活で困ったら

病気を抱えるご本人の療養生活の中で、  
自由が利かなくなってきた時に一緒に良い方法を考え、  
医療や介護等のサービス制度を利用します。

遠方の病院まで電車やバスを使って通院していましたが、最近遠出をするのが大変になってきました。もし病院に通えなくなってしまったら、一人暮らしで寝たきりになってしまったらと思うと不安です。近くのお医者さんや看護師さんが診てくれるのか、どこに相談したらよいかを教えてください。



case

## 4 住み慣れた場所で最期まで暮らしたい

住み慣れた自宅や施設など、  
ご本人が希望する場所で  
看取りや緩和ケアの支援を行います。

余命宣告を受けた寝たきりの母を、  
自宅で看取りたいと考えています。  
住み慣れた家で、家族に囲まれて人生の最期を迎えてほしい。お医者さんや看護師さんだけでなく、いろいろな専門家が在宅医療を支えてくれるから安心と聞きましたが、どのように対応してくれるのか相談したいです。

